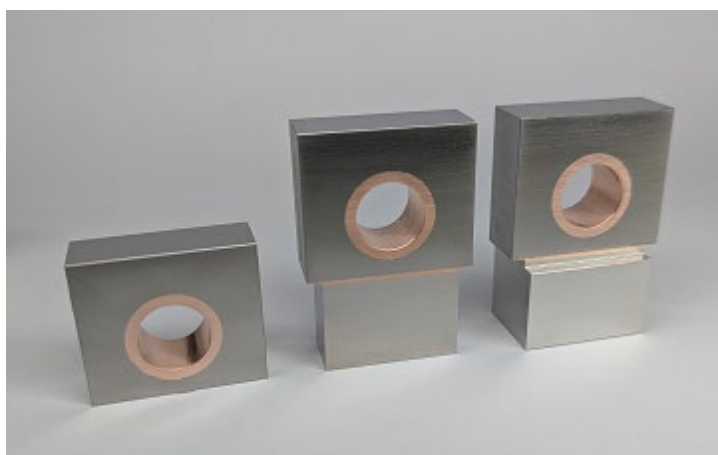


2025 年 12 月 26 日

住友電気工業株式会社

## 核融合実験炉 ITER 向けダイバータ内側垂直ターゲット用 タングステンモノブロック 13 基分納品完了

住友電気工業株式会社（本社：大阪市中央区、社長：井上 治、以下「当社」）のグループ会社である株式会社アライドマテリアル（本社：東京都中央区、社長：山縣一夫、以下「アライドマテリアル」）は、RI Research Instruments GmbH（以下「RI 社」）へ核融合実験炉 ITER（以下「ITER」）で使用するタングステンモノブロック約 32,000 個（ダイバータ 13 基分）を 2025 年 11 月に完納しました。



RI 社で採用されたタングステンモノブロック

核融合反応は 1 億度を超えるプラズマの中で起こり、このプラズマを維持するために不純物を排出・除去するダイバータの表面温度は、最高で 2300 度に達します。この過酷な環境に耐えるため、部材には極めて優れた特性が求められます。ITER のダイバータには、耐熱衝撃性に優れた「割れないタングステン」として、アライドマテリアルのタングステンモノブロックが採用されています\*1。

欧州が調達を担当する「内側垂直ターゲット」に使用されるタングステンモノブロックについて、アライドマテリアルは、2023 年に 58 基中 13 基分を RI 社より受注し、このたび 2025 年 11 月に当該 13 基分を完納しました。

また、日本が調達を担当する「外側垂直ターゲット」に使用されるタングステンモノブロックについては、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）から 58 基全数を受注し、そのうち 30 基分を既に納入しています。残り 28 基分についても生産を進めており、引き続き全数完納へ向け注力してまいります。

# News Release



アライドマテリアルは、垂直ターゲット用タングステンモノブロックの量産技術を活かし、ITER 用第一壁や原型炉およびフュージョンエネルギー市場において、材料メーカーとしての強みを発揮して貢献してまいります。

\*1 2021 年 7 月 20 日発表 核融合実験炉イーター向け部品を受注  
[核融合実験炉イーター向け部品を受注 | 株式会社アライドマテリアル](#)